

PRESS RELEASE (2020/07/20)

**公開シンポジウム「健康で長生きー未来社会を開くヘルステック・イノベーションー」
リモート開催のお知らせ**

九州大学と日本学術会議（第三部会、九州・沖縄地区会議）との共催による公開シンポジウム「健康で長生きー未来社会を開くヘルステック・イノベーションー」を開催します。

日本学術会議は、日本の人文・社会科学、生命科学、理学・工学の全分野における約 87 万人の科学者を内外に代表する機関であり (<http://www.scj.go.jp/>)、公開講座を通して市民との連携を図っています。

本公開シンポジウムもその一環として企画された一般向けの無料シンポジウムです。

新型コロナウイルスの影響で、今回はリモート開催といたしましたので、パソコン、スマートフォン等をお持ちで、インターネットが利用できる環境であれば、どこからでもご参加可能です。

※事前申込みが必要です。

日 時：令和2年8月6日（木）13：00～17：40

場 所：インターネットによる遠隔開催

講 演：

基調講演「ナノメディシンが拓くヘルスイノベーション」

片岡 一則（日本学術会議第三部会会員、公益財団法人川崎市産業振興財団・ナノ医療イノベーションセンターセンター長）

講演「ナノの力で光を操るバイオイメージング」

玉田 薫（日本学術会議連携会員・九州・沖縄地区会議、九州大学先端物質化学研究所主幹教授・副理事）

講演「化学プローブを精密にデザインして癌を光らせる！」

神谷 真子（東京大学大学院医学系研究科准教授）

講演「人間のテクノロジーに対する適応能力からみたヘルステックイノベーションのあるべき姿」

村木 里志（九州大学大学院芸術工学研究院教授）

総合討論 メインテーマ「科学技術と社会、倫理：ポストコロナ時代を乗り越えるヘルステックの迅速な社会実装に向けた「共創」について考える」

司会：君塚 信夫（日本学術会議第三部会会員、九州・沖縄地区会議代表幹事、九州大学大学院工学研究院主幹教授）

話題提供「社会の中の科学・社会のための科学」

小林 傳司（日本学術会議第一部会会員、大阪大学名誉教授）

コメンテーター：片岡 一則、玉田 薫、神谷 真子、村木 里志、小林 傳司

参加費：無料

※令和2年7月31日（金）までに下記 URL の参加申込みフォームまたは、別添資料に掲載の QR コードより事前参加申込みが必要です。（定員になり次第、受付終了）

●参加申込みフォーム：<https://bit.ly/2Y0hEJi>

【お問い合わせ】システム情報科学研究院 教授 谷口倫一郎
Mail:rin@ait.kyushu-u.ac.jp